

受講番号		氏名	
------	--	----	--

平成29年度 登録造園基幹技能者講習

試験問題

岡山会場

[注 意]

1. 答は別の解答用紙に記入してください。
2. 答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。
3. この問題用紙の余白は、計算等に使用して差し支えありません。
4. 退席の際、解答用紙とともにこの問題用紙も回収しますので、持ち帰らない
てください。

一般社団法人 日本造園建設業協会
一般社団法人 日本造園組合連合会

[問題 1] 登録造園基幹技能者に関する次の記述の(ア)(イ)の語句の組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

登録造園基幹技能者は、多工種に精通した幅広い(ア)と優れた空間創造を可能にする美的感性をもって、植栽工事や景石工事など複数の工事から構成される造園施工の工事現場において(イ)的な役割を担うことが期待されている。

- | | (ア) | (イ) |
|-----|-------|-----|
| (A) | 人脈・組織 | 個人 |
| (B) | 人脈・組織 | 中核 |
| (C) | 知識・技能 | 個人 |
| (D) | 知識・技能 | 中核 |

[問題 2] 登録造園基幹技能者に求められる資質に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) リーダーとしての信頼は約束を守ることから得られる。
- (B) 理屈を言い立てるよりも、「まず実行」が最大の説得力である。
- (C) 統率力は「厳しさの中にも情けあり」暖かい配慮が人を動かす。
- (D) 仕事に強い信念を持っていれば決断力が乏しくても人はついてくる。

[問題 3] 登録造園基幹技能者の役割に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 材料の手配、技能者への指示などの段取りと取りまとめを行う。
- (B) 元請営業部社員への営業活動支援を行う。
- (C) 造園空間の“おさまり”に関する調整や指導を行う。
- (D) 工程管理、安全管理及び他工事との調整などの施工管理技術者への補佐を行う。

[問題 4] 造園工事の特性に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 土木や建築に比較して個々の施工規模は小さく、工種も多い。
- (B) 完成までに係わる工種が多く、材料や工法などの知識が求められる。
- (C) 人工と自然の調和共存を図ることが大切である。
- (D) 人工素材が多く使われ、自然素材を活かした工種が少ない。

[問題 5] 設計図書に該当するものとして、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 設計図
- (B) 特記仕様書
- (C) 工事請負契約書
- (D) 現場説明書

[問題 6] 造園工事の特性に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 造園の専門領域とその周辺領域までの知識を広く持つことが求められる。
- (B) 個人庭園の工事では日本の伝統的な造園技術のみで施工することが求められる。
- (C) 植物の生長や空間バランスに配慮することが求められる。
- (D) 全体のおさまりや出来映えを常に考慮する積極性が求められる。

[問題 7] 相手との話し合いに必要な考え方に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 相手の考え方を聞き出す。
- (B) 自分だけで解決方法を見出す。
- (C) 基本は人間関係である。
- (D) 発生した問題を冷静に考える。

[問題 8] 効果的な話し方に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 相手の方を向いて聞き手を無視せず熱意を込めて話をする。
- (B) ジェスチャーを取り入れ興味をそそるように話をする。
- (C) 大切なポイントは、繰り返さず一度で説明する。
- (D) 写真や映像を活用して話をする。

[問題 9] O J T のメリット(効果)に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 指導者の資質、意欲、能力により効果が左右される。
- (B) 仕事に密着した実践的・具体的指導を日常的にでき、研修効率が良い。
- (C) 上司と部下との理解不足と信頼喪失につながる。
- (D) 個人の仕事の能力レベルに合わせた教育ができる。

[問題 10] 人材育成の方法に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 日常の仕事を通して行う指導が O J T である。
- (B) 日常の仕事から離れて行われる集合研修・教育が O F F - J T である。
- (C) 携わる仕事の原点を指導・教育することが O J T の目的である。
- (D) 体系的、理論的な訓練に効果がある方法が O J T である。

[問題 11] 建設業法上の造園工事の例示として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 緑地育成工事
- (B) コンクリート舗装工事
- (C) 根切り工事
- (D) タイル張り工事

[問題 12] 労働安全衛生法に定める労働者の作業内容変更時における安全衛生教育事項として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 事故等の際の応急措置及び退避に関する事
- (B) 材料の調達に関する事
- (C) 作業開始時の点検に関する事
- (D) 作業手順に関する事

[問題 13] 登録造園基幹技能者の安全管理上の職務として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 労働者死傷病報告の届け出
- (B) 作業員の適正配置
- (C) 第三者に対する安全確保
- (D) 作業開始前の安全打合せ

[問題 14] 現場のKY活動に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 全員の顔がみえるように立たせる。
- (B) 熟練者を中心に発言してもらう。
- (C) 話を聞く態度をチェックする。
- (D) 本日の行動目標に対し、参加者から了解の返事ってもらう。

[問題 15] ハインリッヒの法則での比率として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 1:39:500
- (B) 1:19:80
- (C) 1:29:300
- (D) 1:49:550

[問題 16] 施工管理のうち、代表的な五大管理の記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 品質管理・原価管理・工程管理・安全管理・出来形管理である。
- (B) 品質管理・原価管理・工程管理・安全管理・環境管理である。
- (C) 原価管理・工程管理・安全管理・出来形管理・工事写真管理である。
- (D) 原価管理・工程管理・安全管理・出来形管理・書類管理である。

[問題 17] 共通仕様書における用語の定義に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 指示とは、契約図書で明示した事項について、発注者若しくは監督職員または受注者が書面により同意することをいう。
- (B) 協議とは、書面により契約図書の協議事項について、発注者または監督職員と受注者が対等の立場で合議し、結論を得ることをいう。
- (C) 報告とは、設計図書の定めに基づき、監督職員が受注者に対し、工事の施工上必要な事項について書面により示し、実施させることをいう。
- (D) 通知とは、監督職員が受注者に対し、または受注者が監督職員に対し工事に係わる書面またはその他の資料を示し、説明することをいう。

[問題 18] 工程計画に関する次の記述の (ア) (イ) の語句の組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

工程計画の直接目的は (ア) に (イ) を完成させることである。

- | | (ア) | (イ) |
|-----|-----|-----|
| (A) | 安全 | 工事 |
| (B) | 正確 | 仮設物 |
| (C) | 安全 | 仮設物 |
| (D) | 工期 | 工事 |

[問題 19] ネットワーク工程表を用いた工程計画における労務量の平準化に関する記述として、**適当でないもの**はどれか。

- (A) 山積み山崩しにより労務量を平準化することは、効率性の向上に有効である。
- (B) 労務の平準化では、全体工程に遅れが出ない範囲で作業員数が揃うように作業日を割り振り作業の効率化を図る。
- (C) 労務の平準化とは、作業の余裕期間を有効活用し、日々の作業員数を出来るだけ揃えることである。
- (D) 労務の平準化とは、出来ばえより作業の標準化を第一に考慮し、より効率的な労務管理を目指すものである。

[問題 20] 枯損に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) 植栽時の剪定において、細根が減少している根鉢の吸水量とのバランスをとるため、出来るだけ葉を残さないよう剪定する事が枯損を防ぐ方法である。
- (B) 植え込みまでに日数を要して根鉢が乾燥傾向にあったとしても、水極めを丁寧に行えば枯損することはない。
- (C) 目視ではわからないウイルスやバクテリアに感染したものは、時間の経過とともに機能障害を起こし枯損の原因となる。
- (D) 支柱の緩みがあったとしても、樹木自体が健全であれば枯損の原因にはなり得ない。

[問題 21] 植栽基盤に関する次の記述の (ア) (イ) の語句の組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

植栽基盤 = (ア) + (イ)

- | | (ア) | (イ) |
|-----|------|------|
| (A) | 有効土層 | 排水層 |
| (B) | 有効土層 | 不透水層 |
| (C) | 客土層 | 排水層 |
| (D) | 客土層 | 不透水層 |

[問題 22] 公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- (A) この基準(案)は、品質と寸法の規格を定めたものであり、樹木等の植付け時に適用すべきものである。
- (B) この規格で定める寸法値は、最低値を示しており、規格に適合するものは、定められた寸法値以上を有するものである。
- (C) 品質規格は、樹木等の樹高や枝張などの大きさを数値によって表し、これを確認する規格である。
- (D) 寸法規格は、樹木等の特性を表現する樹形や枝葉の配分などが整っているかなどを確認する規格である。

[問題 23] 造園工事で使用する資材の管理に関する次の記述の(ア)(イ)の正誤の組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

(ア) 一般資材には、骨材、コンクリート二次製品、鋼材、木材などがある。
(イ) 特注資材には、通常流通している植物材料、工場製作を伴う大型遊具や特注製品などがある。

- | | (ア) | (イ) |
|-----|-----|-----|
| (A) | 正しい | 正しい |
| (B) | 正しい | 誤り |
| (C) | 誤り | 正しい |
| (D) | 誤り | 誤り |

[問題 24] 造園工事における予定価格積算に関する次の記述の（ア）（イ）の正誤の組み合わせとして、**適当なもの**はどれか。

（ア）直接工事費とは、工事目的物をつくるために直接投入される費用をいう。
（イ）間接工事費とは、工事全体を通じて共通的に必要とする費用をいう。

- | | （ア） | （イ） |
|-----|-----|-----|
| （A） | 正しい | 正しい |
| （B） | 正しい | 誤り |
| （C） | 誤り | 正しい |
| （D） | 誤り | 誤り |

[問題 25] 原価管理の目的に関する記述として、**適当なもの**はどれか。

- （A） 原価資料を収集・整理して、将来の同種工事の見積りに利用する。
- （B） 原価資料を収集・整理して、将来の異種工事の見積りに利用する。
- （C） 原価資料を収集・整理して、将来の同種工事の施工に利用する。
- （D） 原価資料を収集・整理して、将来の異種工事の施工に利用する。